



6月5日から9日にかけて中学部で前期作業学習週間、また6月5日から16日にかけて、高等部で前期実習が行われました。生徒たちは個々の目標に向けて一生懸命作業に取り組みました。事後学習では自分の目標を確認しながら、頑張ったとこと、うまくできなかったところ等、丁寧に振り返り、素敵な社会人になるために、今後の学習や学校生活で頑張っていきたいところを考えることができました。

高等部 校内実習

校内を模擬事業所として実施しました。作業資材を一般事業所から借りて行っている班もあります。将来の生活に必要な態度や人との対応の仕方などについて、より具体的な場で経験するとともに、働く意欲を高めることを目的としています。



丸三化成稲川工場(ポリパックの結束)



稲川リサイクル工場(ペットボトルリサイクル)



佐藤養助商店稲川工場(稲庭うどんの箱折り)



高橋農園シール部(パックシール貼り)



高等部 現場実習

一般事業所や障害者福祉事業所で、就業体験を行いました。将来の生活に必要なマナーや職場での決まりを具体的に経験することで、社会生活への適応力、働く意欲や心構えを養うことを目的としています。



「シェ・アラジン」



「ブリエ十文字」



「ルピナス」



「ツルハドラッグ雄勝こまち店」



「ひなげしの里」



「羽後のうさん」



「ショートステイ月に咲く花」

手工芸班

ミシンで布加工をするグループ、クラフトバンドでコースターを作るグループ、紙を漉いて加工するグループに分かれて作業しています。製作の手順を覚えることを班全体の目標に作業に取り組みました。少しずつ教師の支援が減り、生徒が自分で分かって動く姿が見られるようになりました。自分の作っているものが形になる喜び、作ったものを人から褒めてもらえるうれしさ、1日いっぱい作業を1週間続けることで得られる達成感・生徒にとって実りの多い1週間となりました。



リサイクル班

アルミ缶のリサイクル作業を通して、働くことの喜びを知り、進んで仕事に参加する意欲をもてるように学習しています。缶を運ぶ、缶を洗う、プルタブを取る、缶をつぶすという作業工程を5人の生徒が分担して取り組みました。プルタブやつぶした缶は、今後、リサイクル会社に届ける予定です。繰り返し作業ですが、5人の力を合わせ、目標に向かって、黙々と根気強く頑張りました。



陶芸班

出来映えを意識して手順どおりに作ることに、正しい仕方で必要な報告をすることを目標に、1日いっぱい作業学習に取り組みました。弓やろくろなどの道具の使い方に慣れ、効率よく体を動かせるようになり、たくさんのお皿やカップを作ることができるようになりました。粘土の荒練りなど一人一人ができる工程の幅を広げることができました。態度面でも、基本的な事柄をしっかり行う姿が見られ、充実した1週間となりました。



秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル

日時

平成29年7月12日(水) 10:00~15:40

会場

秋田市にぎわい交流館AU(あう)

参加内容

1. 第16回秋田県障害者技能競技大会
2. 特別支援学校の作業学習製品等の展示
3. 特別支援学校作業学習実践交流会

県内の一般企業等に生徒の職業能力や職業教育への取り組みをアピールすることや、日頃培った技能を大会の場で互いに競い合うことにより、生徒の職業能力の向上を図ることをねらいとしています。

本校からは、高等部生徒が以下のとおり参加します。

- 技能競技大会：喫茶サービス部門2名、ビルクリーニング部門2名、縫製部門1名、パソコンデータ入力部門1名
- 作業学習実践交流会：農園芸・食品加工部門(農耕班)2名、木工部門(工芸班)2名、縫製部門(染め班)2名

※会場では、作業学習製品販売、障害者雇用支援セミナーも開催されます。是非おでかけください。